



大学教育における 生成 AI 活用の可能性を探る

生成 AI の急速な発展は、教育実践や授業設計のあり方にも新たな視点をもたらしています。本研修会では、大阪大学の浦田 悠 先生による講演をはじめ、神戸大学教員による授業実践事例の紹介を通して、教育現場での生成 AI 活用の現状と可能性を共有します。部局や個々の教員の教育活動に資する実践的な活用を考える機会としたい。

講演

「生成AI時代の大学授業デザイン」

浦田 悠 先生

(大阪大学 全学教育推進機構 准教授)

生成AIの急速な普及は、レポート課題や試験だけでなく、授業準備・指導体制のあり方そのものを大きく変えつつあります。本講演では、学生の利用実態や不正防止のポイントを踏まえつつ、生成AIを前提とした評価・課題設計、授業内での具体的な活用事例、シラバスや授業内での方針の整備、さらに教員の業務効率化への応用までを、リスクと可能性の両面から実践的に考えます。

パネルディスカッション

ファシリテーター 村尾 元 先生

(DX・情報統括本部 DX推進部門/国際文化学研究科 教授)

授業における生成AI活用事例紹介

大野 麻子 先生 (DX・情報統括本部 情報基盤センター 准教授)

原 泰史 先生 (経営学研究科 准教授)

2026/ 2/10 (火) 10:00 ~ 12:00

形式：Teams によるオンライン

対象：神戸大学教職員

お申込み：参加をご希望される方は、下記 URL または QR コードより申込フォームに入力し、登録してください。ご登録いただきましたメールアドレス宛てに、研修会視聴 URL をご案内させていただきます。

<https://forms.gle/9kZCMTbdJmFJFZEa9>

